

Japanese Radiation Oncology Database

(JROD) 基本項目入力要領

日本放射線腫瘍学会 データベース委員会

2014-10-01:初版 (Ver. 1.0)

2015-02-03:改訂 (Ver. 1.1)

2020-07-08:改訂 (Ver. 1.2)

Ver1.1 → Ver1.2 への変更点

全体

- ・ 各項目に記載のある JROD データベース (JASTRO 提供の症例登録ソフト) の記載を削除した (「(JROD データベース) ~」で始まる文章)。

1-1 患者基本情報

- ・ 項目 “院内管理コード” の文章を一部修正した。
- ・ 項目 “院内番号” の表を一部修正した。

1-2 患者付帯情報

- ・ 項目 “照射開始時 Karnofsky PS” の文章を一部修正した。

2 疾患情報

- ・ 項目 “疾患名” を必須項目 (データ提出: 必須) に変更した。
- ・ 項目 “疾患名” の文章を一部修正した。
- ・ 項目 “原発部位” を標準項目 (データ提出: 標準) に変更した。
- ・ 項目 “原発部位” の文章を一部削除した。
- ・ 項目 “原発部位側性” に注意事項を追記した。
- ・ 項目 “原発部位 ICD-O コード” を標準項目 (データ提出: 標準) に変更した。
- ・ 項目 “原発部位 ICD-O コード” の文章を一部削除した。
- ・ 「原発巣の進行度について」 の文章を一部修正した。
- ・ 項目 “病期分類名 1” の文章を一部修正した。

3-1 治療方針

- ・ 項目 “治療方針” を必須項目 (データ提出: 必須) に変更した。
 - ε システム上は当面の間, 欠損値でも登録可能とした。
- ・ 項目 “治療方針” の選択肢から「その他」, 「不明」を削除し, 説明文章を修正した。
 - ε システム上は当面の間, 「その他」, 「不明」でも登録可能とした
- ・ 項目 “治療方針” を複数選択可から複数選択不可に変更した。

3-2 外部照射

- ・ 項目 “外部照射開始日” に必須項目に関する注意事項を追記した。
- ・ 項目 “外部照射総線量” の文章を一部修正した。
- ・ 項目 “外部照射総線量” に必須項目に関する注意事項を追記した。

3-3-1 密封小線源治療

- ・ 項目 “密封線源” の選択肢の順番を変更した（放射線治療手技コード Ver1.3 と統一）。
 - ε システム上は当面の間、これまでも入力値でも登録可能とした
- ・ 項目 “密封小線源総線量” の文章を一部修正した。
- ・ 項目 “密封小線源総線量” に必須項目に関する注意事項を追記した。
- ・ 項目 “密封小線源治療開始日” の文章を一部修正した。
- ・ 項目 “密封小線源治療開始日” に必須項目に関する注意事項を追記した。
- ・ 項目 “密封小線源担当医” の文章を一部修正した。
- ・ 項目 “密封小線源指導医” の文章を一部修正した。

3-3-2 非密封線源治療

- ・ 項目 “非密封線源投与日” を必須項目（データ提出：必須）に変更した。
- ・ 項目 “非密封線源投与日” の文章を一部修正した。
- ・ 項目 “非密封線源投与日” に必須項目に関する注意事項を追記した。

4 予後情報

- ・ 項目 “生死の状況” を必須項目（データ提出：必須）に変更した。
- ・ 項目 “生死の状況” の選択肢「原癌死」を「原病死」に変更した。
 - ε システム上は当面の間「原癌死」のままでも登録可能とした
- ・ 項目 “生死の状況” に注意事項を追記した。
- ・ 項目 “最終確認日” を必須項目（データ提出：必須）に変更した。
- ・ 項目 “最終確認日” に注意事項を追記した。
- ・ 項目 “再発の有無” の選択肢から「不明」を削除した。
- ・ 項目 “再発部位” の選択肢を変更し、説明文章を追記した。
 - ε システム上は当面の間、これまでも入力値でも登録可能とした
- ・ 項目 “施設名” のデータ提出を必須に変更した。
- ・ 項目 “施設コード” のデータ提出を必須に変更した。

その他

- ・ 巻末 疾患リスト(別表 1：疾患名，別表 2：小児疾患名)を参考資料として別紙記載とした。

Ver1.0 → Ver1.1 への変更点

2 疾患情報

- ・ 項目 “原発部位側性” の記載位置を項目 “原発部位” の後に変更した。
- ・ 項目 “G1, G2, G3” のそれぞれの項目名を “Grade1, Grade2, Grade3” に変更した。

3-2 外部照射

- ・ 項目 “放射線治療番号 外照射” の項目名を “放射線治療番号 外部照射” に変更した。
- ・ 項目 “外部照射 ICD-O コード” の項目名を “外部照射部位 ICD-O コード” に変更した。
- ・ 項目 “治療対象転移部位” の項目名を “治療対象遠隔転移部位” に変更した。
- ・ 項目 “外照射分割回数” の項目名を “外部照射分割回数” に修正した。
- ・ 項目 “1 日あたり照射回数” の項目名を “一日あたり照射回数” に変更した。
- ・ 項目 “放射線治療管理料 1, 放射線治療管理料 2” の項目名をそれぞれ, “放射線治療管理料一回目, 放射線治療管理料二回目” に変更した。
- ・ 項目 “治療担当医” の項目名を “外部照射担当医” に変更した。
- ・ 項目 “指導医” の項目名を “外部照射指導医” に変更した。

3-3-1 密封小線源治療

- ・ 項目 “3 次元治療計画” の項目名を “三次元治療計画” に変更した。

3-3-2 非密封線源治療

- ・ 項目 “非密封線源メモ” を追加した。

3-4 治療評価情報

- ・ 項目 “一次効果” の項目定義において, CR, PR, SD, PD は RECIST ガイドラインの引用改変であることを明記した。

4 予後情報

- ・ 項目 “有害事象メモ” を追加した。
- ・ 項目 “続発がんフリーコメント” の項目名を “続発がんメモ” に変更した。
- ・ 項目 “施設名” を追加した。
- ・ 項目 “施設コード” を追加した。

その他

- ・ 巻末 疾患リスト(別表 1 : 疾患名, 別表 2 : 小児疾患名)の体裁変更
- ・ 【データ登録に際して】に JROD データ提出について の記載を追加した。

【データ登録に際して】

- 1レコード1疾患単位，1照射部位とする。
 - 多発骨転移など，同時に治療する部位があれば，個別に登録する。
 - ◇ 照射部位：全頸部で，頸部と鎖骨上を別照射範囲で照射した場合などは，1レコードで登録する。
 - 1照射部位で2疾患に照射する場合，個別に登録する。
 - ◇ 具体例：外陰がんに対し，全骨盤照射施行。同時にみつかった早期子宮頸がんがあったとして，こちらに対しても照射していることとなり，2疾患で登録
 - 照射該当疾患とは異なる疾患に新たに照射する際は，新規症例(新患)として登録する。
 - 左右の側性がある疾患で，両側に疾患がありそれぞれ治療対象とする場合は，別の疾患として個別に登録する。
 - 原発巣と所属リンパ節とが同一照射野内に入るときは，原発巣と所属リンパ節の照射線量に変化しても原発巣照射で代表する。
 - 治療途中の照射野縮小は合算して入力する。
 - 原発巣と同一照射野内で遠隔転移巣にも照射した場合は1レコードとする。
 - ◇ 同時期に別の照射野で治療した場合は2レコードとして登録する。
- 一連の治療で外部照射，および小線源治療が併用される場合は，1レコード内に入力する。
 - 小線源治療は一連の治療を1レコードに入力し，開始日と最終施行日，および回数を入力する。
- 非密封線源での治療の場合，外部照射，小線源治療と併記せず，個別の1レコードとして入力する。
 - 複数回治療する場合，治療毎別のレコードとして登録する。
- 記録に注釈が必要と考えられる場合には，外部照射メモ，密封小線源メモ，非密封線源メモの項目にその内容を入力する。

データ提出に関して

- ・ 必須：空白を許可しない項目
- ・ 非収集：個人情報に関する項目であり院外への持ち出しが不可であるもの、もしくは臨床利用に限定される項目（項目重要度：オプションに該当するもの）
- ・ 標準：空白を許可する項目。項目リストに不明がある場合、空白は不明と解釈する。

データ登録に関して

- ・ 必須：症例登録にあたり必ず必要と思われる項目で、RIS ソフトウェアにも搭載が必要と考える。データ提出に”必須”の項目と、個人情報を含むため”非収集”の項目を含む。
- ・ 標準：必須に次ぐ重要度で、一般的な RIS には搭載されていることが多いであろう項目。将来的にはデータ提出を求めていく予定であり、各施設でデータを提出する準備を進めて欲しい項目。RIS ソフトウェアにも搭載が望ましい。
- ・ オプション：JASTRO 構造調査、JRS 専門医研修実績表の集計に使用する項目であり、入力しておくことで集計処理が容易になるであろう項目。データ提出は当面行う予定はなく、各施設で任意に入力可能。RIS ソフトウェアへの搭載は任意とする。

JROD データ提出について

- ・ 原則的にデータ提出は CSV 形式の電子データでの提出とする。
- ・ CSV 形式データの一行目を項目名とする。
- ・ 項目順は本稿巻末 p47～50 の JROD 書き出し順に準ずる。

【1.患者情報】

【1-1.患者基本情報】

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
院内管理コード		必須	必須

- ・ 院外への提出を想定した、施設で扱っている ID（下記院内番号）とは異なる 1 患者 1 件となるような番号.
- ・ 施設独自のフォーマットでのコーディングを許容する。（例えば、治療番号での代用など）
- ・ RIS 上で割り当てられるコードで代用しても差し支えない（ただし、院外への提出が可能かを確認すること）。
- ・ 数字列，文字列，およびその混在を許容する。
- ・ データ収集後，事務局からの問い合わせの際にデータ（個人）識別に用いられるコードとして利用。
- ・ 注：病院で使用する ID（院内番号）は，基本的に個人情報としての取扱いが必要となるが，該当施設において持ち出しが許容されるのであれば，院内番号を使用しても差し支えない。

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
院内番号	院内番号	必須	非収集

- ・ 当該患者の各参加施設での病歴番号を入力する。
- ・ 間にダッシュ、コロン、ピリオド、英字、仮名などが入る場合もそのままこれらを入力する。

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
放射線治療番号 外部照射		オプション	非収集

- ・ 当該施設において外部照射治療患者に院内番号と異なるコードを割り当てている場合，こちらに入力する。
- ・ 特に番号を割り当てていない施設もあり，空白を許容する。（データ提出：非収集）

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
放射線治療番号 小線源		オプション	非収集

- ・ 当該施設において小線源治療患者に院内番号，放射線治療番号 外部照射とは異なるコードを割り当てている場合，こちらに入力する。
- ・ 特に番号を割り当てていない施設もあり，空白を許容する。

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
患者氏名 漢字		必須	非収集

- ・ 氏名を全角漢字で入力。姓と名の間に全角スペースを置くこと。
- ・ 海外国籍，特に非漢字文化圏の症例では，カタカナ，アルファベット等施設のカルテ記載方式に従う。

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
患者氏名 カナ		必須	非収集

- ・ 氏名を全角カナで入力。姓と名の間に全角スペースを置くこと。
- ・ RIS 上の形式が全角かな，もしくは半角カナの場合，そのまま入力しても差し支えない。

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
性別	性別	必須	必須

- ・ 性別を以下の選択肢から入力する。
- ・ 項目リスト：男，女

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
生年月日	生年月日	必須	非収集

- ・ 生年月日を西暦で「yyyy/mm/dd」形式で入力する。月，日がケタの場合，0X/0X の形式で入力する。

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
照射開始時年齢	年齢	必須	必須

- 放射線治療開始時点での年齢を半角数字で入力する。

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
照射開始時郵便番号	郵便番号	標準	非収集

- 放射線治療開始時点で居住していた住所の郵便番号を半角数字で入力する。

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
照射開始時都道府県	都道府県	標準	非収集

- 放射線治療開始時点で居住していた住所の都道府県を入力する。
- 空白を許容する。

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
照射開始時住所	住所	標準	非収集

- 放射線治療開始時点で居住していた住所の都道府県以降の住所を入力する。
- 空白を許容する。

【1-2.患者付帯情報】

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
照射開始時 Karnofsky PS		標準	標準

- 放射線治療開始時点での全身状態（Performance status）を、以下の定義に従って選択肢から1項目入力する。
- KPS : Karnofsky Performance Status

	スコア	患者の状態
正常の活動が可能。特別な看護が必要ない。	100	正常。疾患に対する患者の訴えがない。臨床症状なし。
	90	軽い臨床症状はあるが、正常活動可能。
	80	かなり臨床症状あるが、努力して正常の活動可能。
労働することは不可能。自宅で生活できて、看護はほとんど個人的な要求によるものである。様々な程度の介助を必要とする。	70	自分自身の世話はできるが、正常の活動・労働することは不可能。
	60	自分に必要なことはできるが、ときどき介助が必要。
	50	病状を考慮した看護および定期的な医療行為が必要。
身の回りのことを自分でできない。施設あるいは病院の看護と同等の看護を必要とする。疾患が急速に進行している可能性がある。	40	動けず、適切な医療および看護が必要。
	30	全く動けず、入院が必要だが死はさしさまっていない。
	20	非常に重症、入院が必要で精力的な治療が必要。
	10	死期が切迫している。
	0	死

- 項目リスト：100,90,80,70,60,50,40,30,20,10 (定義から判断して0の入力は起こり得ないため、リストから除外する)
- 不明の場合は空白を許容する。

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
照射開始時 ECOG PS	PS	標準	標準

- 放射線治療開始時点での全身状態（Performance status）を、ECOG の定義に従って以下の選択肢から 1 項目入力する。
- ECOG PS : Eastern Cooperative Oncology Group Performance Status

スコア	患者の状態
0	無症状で社会的活動ができ、制限をうけることなく発病前と同等にふるまえる。
1	軽度の症状があり、肉体労働は制限をうけるが、歩行、軽労働や座業はできる。
2	歩行や身の回りのことはできるが、時に少し介助がいることもある。軽作業はできないが、日中 50%以上は起居している。
3	身の回りのことはある程度できるが、しばしば介助がいり、日中の 50%以上は就床している。
4	身の回りのこともできず、常に介助がいり、終日就床を必要としている。

- 項目リスト : 0,1,2,3,4
- 不明の場合は空白を許容する。
- 注 : ECOG の PS リストと、WHO の定義は同一である。参考に以下に WHO の定義を記す。
- WHO PS : World Health Organization Performance Status

スコア	患者の状態
0	全く問題なく活動できる。発病前と同じ日常生活が制限無く行える。
1	肉体的に激しい活動は制限されるが、歩行可能で、軽作業や座っての作業は行うことができる。たとえば、軽い家事、事務など。
2	歩行可能で、自分の身の回りのことはすべて可能だが、作業はできない。日中の 50%以上はベッド外で過ごす。
3	限られた身の回りのことしかできない。日中の 50%以上をベッドか椅子で過ごす。
4	全く動けない。自分の身の回りのことは全くできない。完全にベッドか椅子で過ごす。
5	死亡

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
重複がん	重複癌の有無	標準	標準

- ・ 当該疾患の診断時までに見えられた、または既に治療を受けた重複がんについて入力する。
- ・ 時期の定義(次項目)に従い、2ヶ月以内に見つかった重複がんについて訂正して入力する。
- ・ 項目リスト：なし，あり，不明（項目リストに不明がある場合，空白は不明と解釈する）

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
重複がんの時期		標準	標準

- ・ 重複がんの時期を，以下の定義より選択し入力する。

	患者の状態
異時	複数の腫瘍あるいは病変で、初発腫瘍と後発腫瘍の診断間隔が2ヶ月を超えた場合
同時	複数の腫瘍で、初発腫瘍の診断から2ヶ月以内に後発腫瘍が診断された場合。同時(Simultaneous)と、同時期(Synchronous)を含む。
時期不明	再発腫瘍の治療時など、治療対象腫瘍を含む複数の腫瘍の診断時期が不明確な場合

- ・ 項目リスト：異時，同時，時期不明
- ・ 複数選択を可能とする。
- ・ 重複がん = あり，の場合空白は不可。

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
重複がんメモ		標準	標準

- ・ 重複がんにつき疾患名，部位名などをフリーテキストで入力する。

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
照射歴		標準	標準

- ・ 登録時点より以前の放射線治療歴を以下の選択肢から1項目選択して入力する
- ・ 項目リスト：なし，あり，不明
- ・ 登録疾患以外の重複がんに対する放射線治療以外にも，再発時の治療等同一疾患で既に照射歴があれば“あり“を選択する。
- ・ 内照射も照射歴ありとする。

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
初診日		オプション	非収集

- ・ 初診日を西暦で「yyyy/mm/dd」形式で入力する。月、日が一ケタの場合、0X/0X の形式で入力する。
- ・ 既に登録済みの疾患に対する再照射で登録する場合、再紹介日を初診日とするか、最初の治療の際の初診日を採用するかは、施設毎任意とする。

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
依頼科		オプション	非収集

- ・ 放射線治療の依頼科をフリーテキストで入力する。
- ・ 不明の場合は空白を許容する。

【2.疾患情報】

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
疾患名		標準	必須

- ・ 治療対象となる疾患名をフリーテキストで入力する。
- ・ 注：現時点では自由入力とするが，別紙参考資料の疾患リスト(表1：疾患名，表2：小児疾患名)に準じた入力が望ましい。
- ・ 空白不可とする。

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
原発部位	原発部位	標準	標準

- ・ 原発部位名をフリーテキストで入力する。
- ・ 項目リスト：ICD-O 第3版，腫瘍の局在 topography に準じる。
- ・ 注：原発不明の場合は原発不明 “Unknown primary site”として，発見部位を入力はしない

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
原発部位側性		標準	標準

- ・ 臓器の側性がある部位の疾患において，原発部位の側性を以下の選択肢から入力する。
- ・ 甲状腺，肝臓等，左葉，右葉などを区別して入力したい場合など，各施設の判断により，側性の入力を可能とする。
- ・ 側性の決定は，重複がんの判定の際にも重要となる。
 - 側性ありの疾患で両側に腫瘍が発生した場合，重複がんとして登録することになる。
 - ◇ 例：乳癌 同時発症の場合で両側照射する場合は2疾患として登録する。
- ・ 項目リスト：bil, lt, rt (bil: 両側, lt: 左, rt: 右)
- ・ 側性が分からない場合は空欄とする。

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
原発部位 ICD-O コード	部位コード	標準	標準

- ・ 原発部位名 ICD-O コードを入力する。
- ・ 項目リスト：ICD-O 第3版，腫瘍の局在 topography に準じる。

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
病理組織	病理組織	標準	標準

- ・ 治療対象となる疾患の病理組織名をフリーテキストで入力する。
- ・ 項目リスト：ICD-O 第3版，病理組織診断 morphology + 各疾患取扱い規約に表記された病理組織名
- ・ 不明の場合は空白を許容するが，Carcinoma, Neoplasm 等のコードが存在することに留意する。

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
病理組織 ICD-O コード	部位コード	標準	標準

- ・ 病理組織 ICD-O コードを入力する。
- ・ 項目リスト：ICD-O 第3版，病理組織診断 morphology に準じる。
- ・ 取扱い規約に記された病理名などで，コードがないものも存在するため空白可とする。

原発巣の進行度について

- ・ 進行度分類を各レコード3つまで入力できるようにしている。
- ・ 分類1には，放射線治療時の診断を入力する。
- ・ 分類2には，放射線治療時診断で，上記分類1とは異なる病期分類を記す欄として利用。施設任意に入力する。例えば取扱い規約による臨床病期分類など。
- ・ 分類3には，当該疾患の治療前の臨床病期分類を記す欄として利用。乳がんの臨床病期分類を入力しておく欄など。
 - 分類1と同じステージが入力されることを許容する。

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
病期分類名 1		標準	標準

- ・ 放射線治療時の病期診断の分類名をフリーテキストで入力する。
- ・ UICC TNM 8th，第8版など，形式は自由とする。
 - 後年改訂されることを念頭に，版数などを併せて記載しておくことを推奨する。

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
CPR1		標準	標準

- ・ UICC TNM 分類における補助記号を、以下の選択肢から一項目入力する。
- ・ 項目リスト：c, p, r, yc, yp, yr
- ・ 病期分類が UICC TNM とは異なり、記号使用に明確な定義がない場合は空白を許容する。

記号	説明
c	臨床分類によるもの
p	病理学的分類によるもの
r	再発治療の際
yc	既治療例を再分類した際 臨床分類によるもの
yp	既治療例を再分類した際 病理学的分類によるもの
yr	既治療例を再分類した際 再発治療の際

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
T1	T	標準	標準

- ・ 病期分類名 1 における T 分類を、各疾患の定義に従って以下の選択肢から一項目入力する。
- ・ 項目リスト：各疾患の T 分類 : 形式 T○
- ・ 空白を許容する。

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
N1	N	標準	標準

- ・ 病期分類名 1 における N 分類を、各疾患の定義に従って以下の選択肢から一項目入力する。
- ・ 項目リスト：各疾患の N 分類 : 形式 N○
- ・ 空白を許容する。

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
M1	M	標準	標準

- ・ 病期分類名 1 における M 分類を、各疾患の定義に従って以下の選択肢から一項目入力する。
- ・ 項目リスト：各疾患の M 分類 : 形式 M○
- ・ 空白を許容する。

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
Stage1	Stage	標準	標準

- ・ 病期分類名 1 における Stage 分類を、各疾患の定義に従って以下の選択肢から一項目入力する。
- ・ 項目リスト：各疾患の Stage 分類 : 形式 S○
- ・ 空白を許容する。

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
Grade1	G	標準	標準

- ・ 病期分類名 1 における病理組織学的分化度分類を、各疾患の定義に従って以下の選択肢から一項目入力する。
- ・ 項目リスト：各疾患の病理組織学的分化度分類 : 形式 G○
- ・ 空白を許容する。

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
病期分類名 2		標準	標準

- ・ 放射線治療時の病期診断の分類名で、分類名 1 と異なる分類名をフリーテキストで入力する。
- ・ 取扱い規約第 3 版, 臨床病期分類 2010, 等, 形式は自由とする。
 - 後年改訂されることを念頭に、版数などを併せて記載しておくことを推奨する。

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
CPR2		標準	標準

- ・ 病期分類名 2 における補助記号を以下の選択肢から一項目入力する。
- ・ 項目リスト：c, p, r, yc ,yp, yr
- ・ 記号使用に明確な定義がない場合は空白を許容する。

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
T2	T	標準	標準

- ・ 病期分類名 2 における T 分類を、各疾患の定義に従って以下の選択肢から一項目入力する。
- ・ 項目リスト：各疾患の T 分類 :形式 T○
- ・ 空白を許容する。

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
N2	N	標準	標準

- ・ 病期分類名 2 における N 分類を、各疾患の定義に従って以下の選択肢から一項目入力する。
- ・ 項目リスト：各疾患の N 分類 :形式 N○
- ・ 空白を許容する。

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
M2	M	標準	標準

- ・ 病期分類名 2 における M 分類を、各疾患の定義に従って以下の選択肢から一項目入力する。
- ・ 項目リスト：各疾患の M 分類 :形式 M○
- ・ 空白を許容する。

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
Stage2	Stage	標準	標準

- ・ 病期分類名 2 における Stage 分類を、各疾患の定義に従って以下の選択肢から一項目入力する。
- ・ 項目リスト：各疾患の Stage 分類 :形式 S○
- ・ 空白を許容する。

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
Grade2	G	標準	標準

- ・ 病期分類名 2 における病理組織学的分化度分類を、各疾患の定義に従って以下の選択肢から一項目入力する。
- ・ 項目リスト：各疾患の病理組織学的分化度分類　：形式　G○
- ・ 空白を許容する。

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
病期分類名 3		標準	標準

- ・ がん治療時初回において、臨床的病期分類名を入力する必要がある場合はこちらにフリーテキストで入力する。
- ・ 取扱い規約第 3 版，臨床病期分類 2010，等，形式は自由とする。
 - 後年改訂されることを念頭に、版数などを併せて記載しておくことを推奨する。

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
CPR3		標準	標準

- ・ 病期分類名 3 における補助記号を以下の選択肢から一項目入力する。
- ・ 項目リスト：c, p, r, yc ,yp, yr
- ・ 入力欄の定義から、基本的には c が入力される。
- ・ 記号使用に明確な定義がない場合は空白を許容する。

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
T3	T	標準	標準

- ・ 病期分類名 3 における T 分類を、各疾患の定義に従って以下の選択肢から一項目入力する。
- ・ 項目リスト：各疾患の T 分類　：形式　T○
- ・ 空白を許容する。

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
N3	N	標準	標準

- ・ 病期分類名 3 における N 分類を、各疾患の定義に従って以下の選択肢から一項目入力する。
- ・ 項目リスト：各疾患の N 分類 :形式 N○
- ・ 空白を許容する。

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
M3	M	標準	標準

- ・ 病期分類名 3 における M 分類を、各疾患の定義に従って以下の選択肢から一項目入力する。
- ・ 項目リスト：各疾患の M 分類 :形式 M○
- ・ 空白を許容する。

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
Stage3	Stage	標準	標準

- ・ 病期分類名 3 における Stage 分類を、各疾患の定義に従って以下の選択肢から一項目入力する。
- ・ 項目リスト：各疾患の Stage 分類 :形式 S○
- ・ 空白を許容する。

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
Grade3	G	標準	標準

- ・ 病期分類名 3 における病理組織学的分化度分類を、各疾患の定義に従って以下の選択肢から一項目入力する。
- ・ 項目リスト：各疾患の病理組織学的分化度分類 :形式 G○
- ・ 空白を許容する。

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
JASTRO 構造調査用疾患分類		標準	標準

- ・ JASTRO 構造調査で年次集計される疾患分類に沿った選択肢から 1 項目入力する。
- ・ 項目リスト：脳・脊髄腫瘍，頭頸部腫瘍，肺癌・気管・縦隔腫瘍，乳癌，肝・胆・膵癌，食道癌，胃・小腸・結腸・直腸癌，婦人科腫瘍，泌尿器系腫瘍，造血器リンパ系腫瘍，皮膚・骨・軟部腫瘍，その他(悪性腫瘍)，良性疾患

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
診断日		オプション	非収集

- ・ 当該疾患を診断した年月日を西暦で「yyyy/mm/dd」形式で入力する。月，日がケタの場合，0X/0X の形式で入力する。
- ・ 院内がん登録においては，生存期間を算出する起点となる診断日であり，初回治療前の診断日とする。
- ・ 再発治療などの場合を考慮して，空白を許容する。
- ・ 何を以て診断日とするかは施設毎の定義に従う。
- ・ 参考までに，院内がん登録における”診断日”の決定について以下に記載する。

診断日を決定する重み付けについて

“がん”と診断する根拠となった検査をどの検査とするか，診断の根拠となった検査日をどの検査日とするかについては，以下のうち，もっとも数字の小さい検査が行われた日を選択する。

- 1 組織診陽性(病理組織検査によるがんの診断) 白血病の骨髄穿刺を含む。
- 2 細胞診陽性(組織診ではがんの診断無し) 白血病などの一般血液検査も含む。
- 3 病理学的検査による確認(組織診検査、細胞診検査の区別が不明確な場合)
- 4 病理学的検査以外の検体検査による結果陽性 (腫瘍マーカー検査を含む)
- 5 がん病巣直視下の肉眼所見による診断 内視鏡下を含む。
- 6 放射線画像診断(病理学的検査による診断なし)
- 9 不明 もしくは、病理学的検査による診断の不明

【3.治療情報】

【3-1.治療方針】

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
今回の治療	今回の治療	標準	標準

- ・ 今回の治療が初回治療(新鮮)か、初回治療後の再発および/または転移で再治療を実施した場合か(再発)を、以下の選択肢から一項目入力する。
- ・ 項目リスト：新鮮，再発，不明
- ・ 単一選択とする。

	患者の状態
新鮮	その疾患に対する初回治療の一環として(術後、予防等含む)放射線治療が施行された場合、こちらを選択する。初回診断時に遠隔転移を有し、緩和照射を行う場合はこちらを選択する。
再発	手術、化学療法など、以前に何らかの治療を施行した後再燃・再発し、今回放射線治療を行う場合こちらを選択する。局所再発、領域リンパ節再発や初回診断・治療後の遠隔転移はこちらを選択する。

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
新患・再患		標準	標準

- ・ 自施設での初回放射線治療患者か(新規患者か否か)を以下の選択肢から一項目入力する。
- ・ 他施設で施行した放射線治療の有無は問わない。
- ・ 項目リスト：新患，再患，不明

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
治療方針	治療方針	標準	必須

- ・ 今回登録時の治療方針を以下の選択肢から入力する。
- ・ 項目リスト：根治・準根治，緩和

	患者の状態
根治・準根治	根治：治癒が完全に期待できる場合 準根治：治癒を目的としているが，手術の合併症や薬剤の副作用などで十分な治療が実地できない可能性の強い場合 予防照射もこちらを選択する
緩和	姑息照射，対症的照射を含む

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
併用療法	治療方法	標準	標準

- ・ 今回登録時治療における併用療法を以下の選択肢から入力する。
- ・ 照射後の項目は予定されている場合に選択する。その後の経過で予定が中止となった場合はその状況を反映させる。
- ・ 複数選択可とする。
- ・ 項目リスト：
 - ・ なし
 - ・ 手術(術後照射)，手術(術前照射)，手術(術中照射)
 - ・ 化学療法(同時併用)，化学療法(照射前)，化学療法(照射後)
 - ・ ホルモン療法(同時併用)，ホルモン療法(照射前)，ホルモン療法(照射後)
 - ・ 分子標的薬(同時併用)，分子標的薬(照射前)，分子標的薬(照射後)
 - ・ 温熱療法(同時併用)，温熱療法(照射前)，温熱療法(照射後)
 - ・ その他(同時併用)，その他(照射前)，その他(照射後)
 - ・ 不明

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
外来・入院	外来・入院の区分	標準	標準

- ・ 放射線治療開始時点で自院に入院していたかを下記の選択肢から一項目入力する。
- ・ 他病院の入院患者の治療をした場合は外来とする。
- ・ 項目リスト：外来，入院，不明
- ・ 単一選択とする。

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
初回がん治療開始日		オプション	非収集

- ・ 当該疾患に対する自施設での初回治療(放射線治療に限らず，先行する手術，化学療法も含む)を開始した年月日を西暦で「yyyy/mm/dd」形式で入力する。月，日がーケタの場合，0X/0X の形式で入力する。
- ・ 再発時の紹介等で，初回治療時の状況が不明の場合は空白を許容する。

【3-2.外部照射】

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
外部照射開始日	治療開始日	必須	必須※

- 外部照射開始日を西暦で「yyyy/mm/dd」形式で入力する。月、日がケタの場合、0X/0Xの形式で入力する。

※ 外部照射を行った場合は必須とする（例えば小線源治療のみの場合は空欄となることを許容する）。

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
外部照射終了日		標準	標準

- 外部照射終了日を西暦で「yyyy/mm/dd」形式で入力する。月、日がケタの場合、0X/0Xの形式で入力する。

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
外部照射総線量	投与線量	必須	必須※

- 外部照射での投与総線量を Gy 単位として数値入力する。

※ 外部照射を行った場合は必須とする（例えば小線源治療のみの場合は空欄となることを許容する）。

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
外部照射日数	照射日数	標準	標準

- 治療開始日から終了日までの日数を数値入力する。1回のみの照射の場合は1日とする。

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
外部照射分割回数	外分割回数	標準	標準

- 分割回数を入力する。多分割照射の場合も総分割回数を入力する。

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
一回線量		オプション	非収集

- ・ 一回線量を Gy 単位として入力する。
- ・ 一連の治療の中で一回線量に変更される場合、初回線量のみ記載するか、変更後と併記するかは施設毎任意とする。

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
一日あたり照射回数		標準	標準

- ・ 一日あたりの照射回数を数値入力する。
- ・ 一連の治療の中で一日あたりの照射回数に変更される場合、最初の回数のみ記載するか、変更後と併記するかは施設毎任意とする。

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
外部照射カテゴリー	外照射カテゴリー	標準	標準

- ・ 外部照射の照射部位を以下の選択肢より入力する。
- ・ 項目リスト：原発巣・原発領域，所属リンパ節，遠隔転移，予防領域，その他，不明
- ・ 複数選択可能とする。
- ・ 外部照射カテゴリーについての登録例を以下に記す。
 - 悪性リンパ腫で
 - もとの病変があったところに再発
 - → 回答：原発巣・原発領域
 - もとの病変でない、リンパ節領域にあたるところに再発
 - → 回答：原発巣・原発領域
 - 上の二つのどちらでもない 離れたところや骨髄に再発
 - → 回答：その他
 - 白血病で髄外腫瘍にあてる場合
 - → 回答：その他
 - 髄膜腫、膠芽腫、脳リンパ腫で
 - もとの病変のあったところでない、脳の中に再発
 - → 回答：その他
 - AVM
 - → 回答：原発巣・原発領域

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
治療対象遠隔転移部位		標準	標準

- ・ 外部照射カテゴリーが ”遠隔転移” の場合、今回の治療対象となった転移部位を以下の選択肢より入力する。
- ・ 項目リスト：骨, 脳, 肺, 肝, その他
- ・ 複数選択可能とする

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
外部照射部位	照射部位	標準	標準

- ・ 外部照射部位をフリーテキストで入力する。
- ・ 照射部位の表記方法は施設任意とする。

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
外部照射部位 ICD-O コード	部位コード	標準	標準

- ・ 外部照射部位に対応した ICD-O 第 3 版 topology コードがあれば入力する。
- ・ 外部照射部位をフリーテキストで入力した場合、省略可とする。

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
線種 1	線種	標準	標準

- ・ 照射線源について、線種を以下の選択肢から一項目入力する。
- ・ 項目リスト：Photon, Electron, Proton, Carbon, Boron neutron
- ・ 単一選択とする。
- ・ 異なる線種が使用される場合、2 つまでは線種 1, 2 に分けて入力する。

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
エネルギー1	エネルギー	標準	標準

- ・ 線種 1 を使用した際のエネルギーを数値入力する。
- ・ 複数選択可とする。

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
線種 2	線種	標準	標準

- ・ 照射線源について、線種を以下の選択肢から一項目入力する。
- ・ 項目リスト：Photon, Electron, Proton, Carbon, Boron neutron
- ・ 単一選択とする。
- ・ 線種 1 に入力した線種と異なるものを選択する。

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
エネルギー 2	エネルギー	標準	標準

- ・ 線種 2 を使用した際のエネルギーを数値入力する。
- ・ 複数選択可とする。

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
外部照射担当医		標準	標準

- ・ 外部照射を担当した医師名をフリーテキストで入力する。
- ・ 複数人いる場合は、併記する。

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
外部照射指導医		標準	標準

- ・ 外部照射担当医に指導をした医師名をフリーテキストで入力する。
- ・ 複数人いる場合は、併記する。

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
特殊照射		標準	標準

- ・ 下記選択肢に該当する照射であれば選択して入力する。
- ・ 複数選択可とする。
- ・ 項目リスト：全身照射，全身照射（4Gy 以下），術中照射，術中体外骨照射，定位照射：脳（ガンマナイフ），定位照射：脳（リニアック），定位照射：肺，定位照射：その他，温熱療法併用，IMRT：頭頸部，IMRT：前立腺，IMRT：中枢神経，IMRT：その他，直線加速器による放射線治療（一連），その他の治療

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
治療加算 1		標準	標準

- ・ 下記選択肢に該当する照射であれば選択して入力する。
- ・ 項目リスト：画像誘導放射線治療加算，呼吸移動対策（追尾 or 追尾以外）加算，加速全乳房加算
- ・ 注：治療加算の項目リストは，以後の診療報酬の変更で変わりうることに留意するため，RIS 等への項目搭載については変更が容易な形式が望ましい（リスト選択ではなく，自由入力ないし施設毎の拡張など）

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
治療加算 2		オプション	非収集

- ・ 下記選択肢に該当する照射であれば選択して入力する。
- ・ 項目リスト：小児加算（新生児），小児加算（3 歳未満），小児加算（3 歳以上 6 歳未満），小児加算（6 歳以上 15 歳未満），放射線治療専任加算，外来放射線治療加算，固定具加算
- ・ 注：治療加算の項目リストは，以後の診療報酬の変更で変わりうることに留意するため，RIS 等への項目搭載については変更が容易な形式が望ましい（リスト選択ではなく，自由入力ないし施設毎の拡張など）

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
放射線治療管理料一回目		標準	標準

- ・ 一連の治療における管理料を、以下の選択肢から一項目入力する。
- ・ 項目リスト：単純，中間，複雑，IMRT
- ・ 単一選択とする。
- ・ 一連の治療中に2回まで算定でき、2回目は放射線治療管理料2に入力する。

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
放射線治療管理料二回目		標準	標準

- ・ 一連の治療における管理料を、以下の選択肢から一項目入力する。
- ・ 項目リスト：単純，中間，複雑，IMRT
- ・ 単一選択とする。

項目	説明
単純	1門照射，対向2門照射又は外部照射を行った場合
中間	非対向2門照射，3門照射，又は腔内照射を行った場合
複雑	4門以上の照射，運動照射，原体照射又は組織内照射を行った場合
IMRT	強度変調放射線治療を行った場合

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
照射技法		オプション	非収集

- ・ 外部照射の照射技法を、以下の選択肢から入力する。
- ・ 項目リスト：前方1門，後方1門，側方1門，斜入1門，対向2門，非対向2門，直交2門，接線2門，3門，4門以上，回転，振子，IMRT (Step and Shoot)，IMRT (Sliding Window)，IMRT (VMAT)，定位
- ・ 複数選択可とする。

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
外部照射メモ		標準	標準

- 外部照射に関して、前項までの入力項目以外の内容、もしくは項目に附随して必要と考えられる事項をフリーテキストで入力する。特に複数の照射方法、照射部位などを含む場合、できるだけその詳細を記録することを希望する。

【3-3.小線源治療】

【3-3-1.密封小線源治療】

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
密封小線源部位	照射部位	標準	標準

- ・ 小線源治療の治療部位をフリーテキストで入力する。

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
密封小線源部位 ICD-O コード	部位コード	標準	標準

- ・ 小線源治療の治療部位に対応した ICD-O コードを入力する。

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
密封線源	線源	標準	標準

- ・ 治療に使用した線源を以下の選択肢から一項目入力する。
- ・ 項目リスト：Ir-192, Co-60, Sr-90, Cs-137, Au-198, I-125, Ru-106, その他（施設毎設定）

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
密封小線源線量率	線量率	標準	標準

- ・ 治療に使用した線源の線量率を以下の選択肢から一項目入力する。
- ・ 項目リスト：LDR, HDR （LDR：低線量率, HDR：高線量率）

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
密封小線源照射方法	照射方法	標準	標準

- ・ 治療に使用した線源の投与方法を以下の選択肢から入力する。
- ・ 項目リスト：腔内, 管内, 組織内, モールド, その他
- ・ 複数選択可とする。

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
密封小線源一回線量		標準	標準

- ・ 小線源治療の一回線量を Gy 単位として数値入力する。
- ・ 複数回の治療毎に基準点での一回線量が異なる場合、最大線量を代表としてもよい。毎回の線量をカンマ区切りで繋げて入力してもよい。例) 6Gy, 5.5Gy, 6Gy....

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
密封小線源分割回数	分割回数	標準	標準

- ・ 分割回数を数値入力する。

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
密封小線源総線量	照射線量	必須	必須※

- ・ 密封小線源治療の総線量を Gy 単位として数値入力する。

※ 密封小線源治療を行った場合は必須とする（例えば外照射のみの場合は空欄となることを許容する）。

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
使用アプリケーション		オプション	非収集

- ・ 小線源治療の際、使用したアプリケーションを以下の選択肢から入力する。
- ・ 項目リスト：食道アプリケーション、気管・気管支アプリケーション、その他アプリケーション
- ・ 単一選択とする。

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
小線源使用数		オプション	非収集

- ・ 線源の使用数を数値入力する。シードやワイヤ、グレインであればその個数を、腔内や組織内照射であればアプリケーション本数を入力する。

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
密封小線源治療開始日	治療開始日	必須	必須※

- ・ 密封小線源治療開始日を西暦で「yyyy/mm/dd」形式で入力する。月、日が一ケタの場合、0X/0X の形式で入力する。

※ 密封小線源治療を行った場合は必須とする（例えば外照射のみの場合は空欄となることを許容する）。

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
密封小線源治療終了日		標準	標準

- ・ 小線源治療終了日を西暦で「yyyy/mm/dd」形式で入力する。月、日が一ケタの場合、0X/0X の形式で入力する。

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
密封小線源治療日数	照射日数	標準	標準

- ・ 照射開始日から終了日までの日数を数値入力する。単回照射、もしくは低線量率照射の場合は 1 とする。

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
密封小線源担当医		標準	標準

- ・ 小線源治療の担当医をフリーテキストで入力する。
- ・ 複数人の入力を可とする。

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
密封小線源指導医		標準	標準

- ・ 小線源治療の指導医をフリーテキストで入力する。

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
三次元治療計画		標準	標準

- ・ 小線源治療において三次元治療計画を行ったかを以下の選択肢から一項目入力する。
- ・ 項目リスト：なし，三次元治療計画あり

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
密封小線源メモ		標準	標準

- ・ 密封小線源治療に関して，前項までの入力項目以外の内容、もしくは項目に附随して必要と考えられる事項をフリーテキストで入力する。特に複数の照射方法，照射部位などを含む場合，できるだけその詳細を記録することを希望する。

【3-3-2.非密封線源治療】

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
非密封線源		標準	標準

- ・ 使用した線源を以下の選択肢から一項目入力する.
- ・ 項目リスト : I-131, Sr-89, Y-90, Ra-223, その他 (施設毎設定)

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
非密封線源投与量		標準	標準

- ・ 投与量を MBq 単位で数値入力する.

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
非密封線源投与回数		標準	標準

- ・ 初回治療より起算して何回目の投与になるかを数値入力する.

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
非密封線源投与日		標準	必須※

- ・ 非密封線源投与日を西暦で「yyyy/mm/dd」形式で入力する. 月, 日がーケタの場合, 0X/0X の形式で入力する.

※ 非密封小線源治療を行った場合は必須とする (例えば外照射のみの場合は空欄となることを許容する).

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
非密封線源担当医		標準	標準

- ・ 線源投与担当医をフリーテキストで入力する.

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
非密封線源メモ		標準	標準

- ・ 非密封線源治療に関して、前項までの入力項目以外の内容、もしくは項目に附随して必要と考えられる事項をフリーテキストで入力する。特に複数の照射方法、照射部位などを含む場合、できるだけその詳細を記録することを希望する。

【3-4.治療評価情報】

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
放射線治療完遂度	放射線治療完遂度	標準	標準

- 放射線治療の完遂度を以下の選択肢から一項目入力する。
- 項目リスト：予定治療完遂，予定治療完遂(8日以上の中断あり)，予定の50%未満で中止，予定の50%以上で中止，遂行程度不詳で中止，その他，不明

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
一次効果	一次効果	標準	標準

- 一次効果を以下の選択肢から入力する。
- 複数選択を可能とする。
- 項目リスト：CR, PR, SD, PD, 症状改善あり，症状改善なし，評価できる病巣なし，その他，不明
- 以下のCR, PR, SD, PDの定義はRECISTガイドライン¹⁾²⁾から「標的病変」の「各時点での効果」を引用改変，参考としている。

項目名	定義
CR	Complete response, 完全奏効: すべての標的病変の消失
PR	Partial response, 不完全奏効: 最長径の和が30%以上減少
SD	Stable disease, 安定: CR/PRにはいたらず、PDにもならない
PD	Progressive disease, 進行: 治療開始以降の最小の最長径の和より20%以上増加
症状改善あり	緩和治療の場合の症状に改善効果が認められる場合
症状改善なし	緩和治療の場合の症状に改善効果が認められない場合
評価できる病巣なし	術後照射などで観察すべき原発巣が存在しない場合
その他	治療方針が予防のため一次効果が評価できない場合
不明	治療中の病死など治療効果の判定が困難な場合

1) New response evaluation criteria in solid tumours: Revised RECIST guideline (version 1.1): EUROPEAN JOURNAL OF CANCER 45 (2009) 228–247, E.A. Eisenhauer, P. Therasse, J. Bogaerts, L.H. Schwartz, D. Sargent, R. Ford, J. Dancey, S. Arbuck, S.

Gwyther, M. Mooney, L. Rubinstein, L. Shankar, L. Dodd, R. Kaplan, D. Lacombe, J.

Verweij

2) 固形がんの治療効果判定のための 新ガイドライン (RECIST ガイドライン) - 改訂版

version 1.1— 日本語訳 JCOG 版 ver.1.0 (JCOG ホームページ [http:// www.jcog.jp](http://www.jcog.jp))

【4. 予後情報】

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
生死の状況	生死の状況	標準	必須※

- ・ 生死の状況を、定義に従って以下の選択肢から一項目入力する。

※ 予後調査ではデータ提出は必須となるが、通常の新規登録（前年治療症例の登録）では必須としない（空欄を許可する）。

項目名	定義
非担癌生存	診断により癌がなくて生存している場合
担癌生存	診断により担癌状態で生存している場合
担癌不詳生存	診断がされていないか診断されても癌が残っているかどうかは不明だが、生存している場合
原病死	対象癌(再発、転移を含む)が原因で死亡した場合。担癌状態で死亡したが、詳細不明の場合でもこの項に該当する
他病死	癌以外の病気が主因で死亡した、もしくは原癌は制御されたが、重複癌が原因で死亡した場合
不明死	死亡通告はあったが死因が不明の場合など
消息不明	生死の状況が全くわからない場合。消息不明を含む

- ・ 項目リスト：非担癌生存，担癌生存，担癌不詳生存，原病死，他病死，不明死，消息不明
- ・ 未調査の場合，消息不明を選択。
- ・ 内容の分からない生存は担癌不詳生存，内容の分からない死亡は不明死を選択。
- ・ 良性疾患の場合の生死に関して，病気が治っていない生存は「担癌生存」を選択。

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
最終確認日	最終追跡日	標準	必須※

- ・ 最近の生存確認日を西暦で「yyyy/mm/dd」形式で入力する。月，日が一ケタの場合，0X/0X の形式で入力する。
 - ・ 死亡の場合は死亡日を記録する。
 - ・ 照射以後の外来受診がない場合，外部照射終了日，小線源治療終了日もしくは非密封線源投与日を入力する。
- ※ 予後調査ではデータ提出は必須となるが，通常の新規登録（前年治療症例の登録）では必須としない（空欄を許可する）。

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
再発の有無	再発の有無	標準	標準

- ・ 再発の有無を以下の選択肢から一項目入力する。
- ・ 項目リスト：なし，あり

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
再発確認日	再発確認日	標準	標準

- ・ 再発を確認した日(診断日など)を「yyyy/mm/dd」形式で入力する。月，日が一ケタの場合，0X/0X の形式で入力する。

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
再発部位	再発部位	標準	標準

- ・ 再発部位を以下の選択肢から入力する。
- ・ 項目リスト：原発部位，所属リンパ節，遠隔転移，不明

項目名	定義
原発部位	治療対象病変の原発疾患の原発巣と思われる部位の再発
所属リンパ節	治療対象病変の原発疾患の所属リンパ節と思われる部位の再発
遠隔転移	療対象病変の原発疾患の遠隔転移と思われる再発
不明	前立腺癌における生化学的再燃や血液腫瘍などで、強く再発が考えられているが部位が特定できない場合

- ・ 複数選択可能とする。
- ・ 初回再発部位のみとするか，再発後の出現部位全てを記載するかは任意とする。

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
再発部位詳細	再発部位詳細	標準	標準

- ・ 再発部位で選択した項目の詳細をフリーテキストで入力する。

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
再発治療の有無		標準	標準

- ・ 再発後の癌治療の有無を以下の選択肢から一項目入力する。
- ・ 項目リスト：なし，あり，不明

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
再発治療内容詳細		標準	標準

- ・ 再発治療ありの場合，治療内容の詳細をフリーテキストで入力する。

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
有害事象の有無	有害事象の有無	標準	標準

- ・ 有害事象の有無を以下の選択肢から一項目入力する。
- ・ 項目リスト：なし，あり，不明

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
有害事象確認日 1	有害事象確認日	標準	標準

- ・ 次項 “有害事象発生部位 1” を確認した日を「yyyy/mm/dd」形式で入力する。月，日が一ケタの場合，0X/0X の形式で入力する。

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
有害事象発生部位 1	有害事象発生部位	標準	標準

- ・ 有害事象発生部位をフリーテキストで入力する。
- ・ CTC-AE など，特定の評価基準の入力とは定めていない。施設の任意で使用して差し支えない。
- ・ 急性期，晩期あわせて3つの入力欄とする。

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
有害事象グレード 1	グレード	標準	標準

- ・ 有害事象のグレードを以下の選択肢から一項目入力する。
- ・ 項目リスト：0, 1, 2, 3, 4, 5
- ・ CTC-AE など，特定の評価基準の入力とは定めていない。施設の任意で使用して差し支えない。
- ・ 急性期，晩期あわせて3つの入力欄とする。

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
有害事象確認日 2	有害事象確認日	標準	標準

- ・ 次項 “有害事象発生部位 2” を確認した日を「yyyy/mm/dd」形式で入力する。月，日が一ケタの場合，0X/0X の形式で入力する。

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
有害事象発生部位 2	有害事象発生部位	標準	標準

- ・ 有害事象発生部位をフリーテキストで入力する。
- ・ CTC-AE など、特定の評価基準の入力とは定めていない。施設の任意で使用して差し支えない。
- ・ 急性期、晩期あわせて3つの入力欄とする。

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
有害事象グレード 2	グレード	標準	標準

- ・ 有害事象のグレードを以下の選択肢から一項目入力する。
- ・ 項目リスト：0, 1, 2, 3, 4, 5
- ・ CTC-AE など、特定の評価基準の入力とは定めていない。施設の任意で使用して差し支えない。
- ・ 急性期、晩期あわせて3つの入力欄とする。

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
有害事象確認日 3	有害事象確認日	標準	標準

- ・ 次項 “有害事象発生部位 3” を確認した日を「yyyy/mm/dd」形式で入力する。月、日が一ケタの場合、0X/0X の形式で入力する。

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
有害事象発生部位 3	有害事象発生部位	標準	標準

- ・ 有害事象発生部位をフリーテキストで入力する。
- ・ CTC-AE など、特定の評価基準の入力とは定めていない。施設の任意で使用して差し支えない。
- ・ 急性期、晩期あわせて3つの入力欄とする。

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
有害事象グレード 3	グレード	標準	標準

- ・ 有害事象のグレードを以下の選択肢から一項目入力する。
- ・ 項目リスト：0, 1, 2, 3, 4, 5
- ・ CTC-AE など、特定の評価基準の入力とは定めていない。施設の任意で使用して差し支えない。
- ・ 急性期，晩期あわせて3つの入力欄とする。

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
有害事象メモ		標準	標準

- ・ 有害事象についての詳細をフリーテキストで入力する。

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
続発がんの有無	二次発がんの有無	標準	標準

- ・ 続発がんの有無を以下の選択肢から一項目入力する。
- ・ 項目リスト：なし，あり，不明
- ・ 放射線誘発がん以外にも，当該疾患に対する治療後に診断されたがん全てを対象とする。

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
続発がん確認日	二次発がん確認日	標準	標準

- ・ 続発がんを確認した日(診断日など)を「yyyy/mm/dd」形式で入力する。月，日がケタの場合，0X/0X の形式で入力する。

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
続発がん部位	二次発がん発生部位	標準	標準

- ・ 続発がんが発生した部位をフリーテキストで入力する。

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
続発がんメモ		標準	標準

- ・ 続発がんについての詳細をフリーテキストで入力する。
- ・ 前項で入力した続発がんにつき、さらに別のがんが診断された場合その部位、診断日はこちらに入力する。
- ・ 「再発」と「続発がん」の定義について
 - 腫瘍情報で登録した疾患（照射した疾患）と同一の疾患が再燃したと考えられる場合は再発、放射線発がんなど、別の病理組織像をもつ疾患が新たに出現したと考えられる場合には続発がん、明確な判定が困難な場合は入力者に一任する。
(実臨床の現場では厳密には区別がつけられないこともあり、その場合は、各施設でどちらかに決定する)

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
施設名		標準	必須

- ・ 貴施設名をフリーテキストで入力する。

項目名	旧 ROGAD 項目名	項目重要度	データ提出
施設コード		標準	必須

- ・ 従来の JASTRO 構造調査でも用いられている施設固有のコードを入力する。
- ・ 「J」（大文字半角）+ 数字 5 桁（半角）で表わされるコード
- ・ 例) J12345

JROD データ書き出し順

院内管理コード

性別

照射開始時年齢

照射開始時 Karnofsky PS

照射開始時 ECOG PS

重複がん

重複がんの時期

重複がんメモ

照射歴

疾患名

原発部位

原発部位側性

原発部位 ICD-O コード

病理組織

病理組織 ICD-O コード

病期分類名 1

CPR1

T1

N1

M1

Stage1

Grade1

病期分類名 2

CPR2

T2

N2

M2

Stage2

Grade2

病期分類名 3

CPR3

T3

N3

M3

Stage3

Grade3

JASTRO 構造調査用疾患分類

今回の治療

新患・再患

治療方針

併用療法

外来・入院

外部照射開始日

外部照射終了日

外部照射総線量

外部照射日数

外部照射分割回数

一日あたり照射回数

外部照射カテゴリー

治療対象遠隔転移部位

外部照射部位

外部照射部位 ICD-O コード

線種 1

エネルギー1

線種 2

エネルギー2

外部照射担当医

外部照射指導医

特殊照射

治療加算 1

放射線治療管理料一回目

放射線治療管理料二回目

外部照射メモ
密封小線源部位
密封小線源部位 ICD-O コード
密封線源
密封小線源線量率
密封小線源照射方法
密封小線源一回線量
密封小線源分割回数
密封小線源総線量
密封小線源治療開始日
密封小線源治療終了日
密封小線源治療日数
密封小線源担当医
密封小線源指導医
三次元治療計画
密封小線源メモ
非密封線源
非密封線源投与量
非密封線源投与回数
非密封線源投与日
非密封線源担当医
非密封線源メモ
放射線治療完遂度
一次効果
生死の状況
最終確認日
再発の有無
再発確認日
再発部位
再発部位詳細
再発治療の有無
再発治療内容詳細

有害事象の有無

有害事象確認日 1

有害事象発生部位 1

有害事象グレード 1

有害事象確認日 2

有害事象発生部位 2

有害事象グレード 2

有害事象確認日 3

有害事象発生部位 3

有害事象グレード 3

有害事象メモ

続発がんの有無

続発がん確認日

続発がん部位

続発がんメモ

施設名

施設コード